

令和2年度重点事業

1. 教員が子どもと向き合う時間の確保

授業の充実と校務の効率化を支援することで教職員の負担軽減を推進し、教員が子どもとふれあう時間を確保する。そのために、ICTの積極的な活用を支援するとともに、小学校教科指導講師やイングリッシュサポーター等の非常勤講師や校務補助員を効果的に配置する。また、学校財務事務における教職員との共同研究の実施及び学校と保護者や地域との協働体制の確立をとおして、より円滑な教育活動の実施を支援する。

2. 学校支援体制の充実

学校での生徒指導上の様々な問題や、ケータイ・インターネット問題などへの対策として学校支援体制の一層の充実を図る。そのために、青少年支援センターが、学校や関係機関、弁護士などの専門家、さらには地域と連携・協力して諸問題に対応する。また、学校に配置する「スクールアシスタント」や訪問支援を行う「オープンドアサポーター」、社会的自立を手助けする「適応指導教室」を通じて不登校傾向の児童生徒を支援する。

3. 特別支援教育の充実

特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室、「ほっとルーム」などを持つ本市の特別支援教育体制の良さを活かしながら、一人一人の障害や発達・特性等に適した指導を行う。また、通常の学級に在籍する支援を必要とする児童生徒に対して、「学習サポーター」を配置し、担任と協力しながら個に応じた指導の充実を図る。

4. 幼児教育の充実と小学校教育との連携の推進

幼児期に必要な生きる力の基礎を育むための体験ができるよう、家庭や園所等で目指す方向性をまとめた「まえばし幼児教育充実指針 めぶく～幼児の育ち～」を広く市民に周知するとともに、「幼児教育アドバイザー」の活用、「保幼小連携地区ブロック研修会」の実施や「スタートカリキュラム」の編成・実施への支援等により幼児教育の充実と小学校教育との連携を推進する。

5. 地域課題解決に向けた社会教育の充実

活力ある地域社会を構築するため、公民館・コミュニティセンター・図書館において、地域課題解決に向けた社会教育の充実を図る。公民館・コミュニティセンターでは、地域の特色や人材を活用して、住民が主体的に活動できるしかけを工夫し、地域の絆づくりを推進する。また図書館では、市民の学びを広げるための講座や情報提供を行い、読書活動を通じた学びの機会の提供と支援を図る。

6. 指定重要文化財の利活用の推進

市内には国の重要文化財である臨江閣をはじめとして、文化財が数多く残されている。これら文化財を適切に維持管理し、後世へ伝えていくとともに、情報発信を強化し、市民がイベント開催や地域行事に積極的に活用できるよう努める。また、上野国府や総社古墳群などの文化財調査を推進し、各種文化財の企画展示、普及啓発事業を通して、その魅力を広く周知し、新たな前橋の魅力発見や観光振興につなげていく。